

計画案の内容に係る子ども・子育て会議委員からの主な意見と対応について

No.	主な意見	意見への対応や計画書への反映等
1	子育て支援の観点から、子育て・子どもが育つ環境づくりの視点が必要と思う。改めてこどもたちの思いを聞き取っていく、あるいは、今あるものを精査しながらどういった環境が必要なのか洗い出していく取組があつてよと感じた。	基本施策1 視点1【取組1-①】
2	全て受け皿を増やしていけば問題が解決するというのではなく、地域での子育てが大切と思う。	基本施策1 視点2【取組2-①】
3	市職員の育休の状況を把握していれば、より市民や事業所へのアピールも変わってくるのではないかと。育休を取得するのはとても大変なことであるのは分かっているが、取得を進めなければ大牟田市は変わらないと思う。育児、子育てをみんなでやるというのは意識の改革が必要と思う。	基本施策1 視点2【取組2-①】
4	大牟田市こども計画は行政計画と思うが、少子化対策や子ども・子育て支援を質・量ともに充実させていくためには、官のみではなく官民一体で取り組むべきで、もっと積極的に民へアプローチし、民の役割や頑張りにもっと期待してもいいのではないかと。そのことを計画に反映させてほしい。たとえば、男性の育児休業取得への社会的機運を高めるとともに、地元企業における育児休業取得の促進、若手人材の確保・定着を図ることを計画に盛り込むなど。	基本施策1 視点2【取組2-①】
5	情報発信について、LINEはまずは公式アカウントに登録してもらう必要がある。InstagramやXなど活用してはどうか。	基本施策1 視点2【取組2-①】
6	子育てしやすい理由として「医療機関が充実している」が3割となっている点は、大変な状況下で対応している小児科医へのモチベーションが下がるのでは。医療が充実していないというより、医師の働き方改革による制限や人手不足の中でもやりくりしているのが伝わるとよと思う。	基本施策1 視点2【取組2-①】の中で情報発信に努める。
7	来年1月からのこども医療費の助成拡充は大変嬉しく思う。将来的に継続して欲しい。	基本施策2 視点1【取組1-②】 基本施策2 視点4【取組4-②】
8	保育士は虐待等の報道もあり世間の目は厳しい。就職希望者がいても勤務条件が合わず、就職しないのが現状。潜在的な保育士が復帰できない要因を考え環境を整えていく努力が必要。	基本施策2 視点2【取組2-①】
9	「つどいの広場」の育児スペースや駐車場が手狭になっているならば、いっそのこと大型商業施設（イオン・ゆめタウン）内に移設するなど、利用者・商業施設がWin-Winの関係を築くことができると思う。子育てしやすいまちは、経済効果も期待できる。	基本施策2 視点2【取組2-②】
10	休日保育のように、小学生でも休日にどこかで見てもらえる施設があれば共働き家庭が困らないと思う。	基本施策2 視点2【取組2-②】
11	近親者が近くにおらず、子どもを預けられない家庭が増えていることが課題なので、資格者だけに責任や重圧を求めるのではなく、互いに預けあう環境ができるとよと思う。	基本施策2 視点2【取組2-②】

No.	主な意見	意見への対応や計画書への反映等
12	子どもが元気に遊べる場所が極端に少ない。遊べる場所をもっと確保してほしい。	基本施策 2 視点 2 【取組 2-②】（つどいの広場） 基本施策 4 視点 1 【取組 1-①】（こどもの居場所） 基本施策 4 視点 2 【取組 2-②】（公園等の改修等）
13	民間に対して、例えば子ども食堂や子どもの居場所を作る事業などについて募集することは視野に入れないか。民間の方に行政側からの助成金を出すなどといった予算の組み方があれば動く人間はいるのではないかなと感じた。	基本施策 1 視点 2 【取組 2-①】 基本施策 4 視点 1 【取組 1-①】
14	学校は地域の教育資源を取り入れ、教育活動を充実させたり、学校がコミュニティの核となることで地域も活性化したりすると考えている。しかし、こどもの登下校の見守り活動では新しいメンバーは入ってこず、町内会に入る方も減少していると聞く。地域のコミュニティがなくなると、子どもたちは地域の力では育たなくなる。こどもの居場所、こどもを見守る目などを確保するうえで市役所の課を越え、全市的に地域コミュニティの存続に向けた施策もさらに必要と思う。	基本施策 1 視点 2 【取組 2-①】 基本施策 4 視点 1 【取組 1-①】（こどもの居場所） 基本施策 4 視点 2 【取組 2-①】（地域づくり）
15	アンケート結果では、若者が子育てしやすいまちと思わない理由として「治安が悪い」が高くなっている。治安とは国家・社会の秩序の部分であると思うので、行政側として、どこがどのように悪いのか具体的な把握、周知はされているか。犯罪被害を受けているという声も聞く。犯罪に手を染めている子供たちがこの市内にいるかもしれないことに対して対策等は考えているか。	基本施策 4 視点 3 【取組 3-②】
16	大牟田市職員の育休取得率で女性は概ね 100%に対し、男性の低さが目立っている。育休という完全な休みでなくとも、時短勤務をパパや親族がとってほしいのではないかな。	第 2 章の 1（3）④を修正。
17	国は保育所等での預かりや対応時間を長くするような施策を進め、こどもが家庭にいる環境が短くなっており、その責任が福祉や医療の従事者に負担となってきている。相談相手が身近にいないのも一因ではないかな。	基本施策 1 視点 2 【取組 2-①】
18	子どもたちは遊び方や自己判断をする機会が足りないのではないかなと思う。大人が先に杖を立ててしまうことで、危険察知能力が養われることを阻害してしまっていると思う。	基本施策 4 視点 1 【取組 1-①】 基本施策 4 視点 2 【取組 2-②】
19	家族構成やこどもの数と居場所の不足感や経済的困窮とかの関連性を明らかにしていくことで、今後大牟田市においてどのような政策が必要かをより考えやすくなると思う。	今回の調査結果では、例えば、収入とこどもの数や家族構成などでは関連性が窺える。また、サンプル数が限られているが、朝食や夕食の回数が少ないこどもの方が無料で勉強や食事を受けられる施設の利用ニーズが高い傾向などが窺える。 今後、こういった分析も踏まえ、計画を推進していく。